

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	佐川急便株式会社りんくう営業所	階数	地上1F
建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来南6番2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	9,000 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2014年3月20日
敷地面積	13,371 m <sup>2</sup>	作成者	川田工業(株)竹内啓輔
建築面積	4,870 m <sup>2</sup>	確認日	2014年3月30日
延床面積	5,157 m <sup>2</sup>	確認者	川田工業(株)竹内啓輔

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	85%
③上記+②以外の	85%
④上記+	85%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 配送センターとしての機能を満たす為、車輛旋回エリアの確保、駐車場の確保を行う。交通環境や、音環境等、周辺環境への影響を配慮した計画とした。シンプルな形状、構造として高さを抑えることで周囲への調和を意識した。		<b>その他</b> 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	<b>Q2 サービス性能</b> 空間にゆとりを持ち、荷重や、設備配管の更新のしやすさを考慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 既存の緑地を活かし、駐車場を緑化することで緑化面積を増やすことで室外環境へ考慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 荷捌場にトップライトを採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 工場内の仕上げはプラスターボード現しの為、分別が容易で有り、仕上げのある範囲ではグリーン購入品の採用を心掛けた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 屋外照明の照度計画や、騒音予測等を行い、周辺環境への影響を配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	佐川急便株式会社りんくう営業所		
	建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来南6番20		
	用途/区分	工場		
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			4
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	4	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.5
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項	第二種中高層住居専用地域への配送センター(工場)の建築の為、特に周辺環境への影響について配慮した。 (交通環境、音管環境、夜間の工場照明の影響、緑化等)			